

## 申3号「電気部門の変革2022」に関する申し入れ団体交渉①

12月24日、申3号（7月25日申し入れ）について団体交渉を行ってきました。これは「電気部門の変革2022」の施策が4月1日より順次実施されていますが、不明な点が明らかにされないまま現場へ新たな業務が持ち込まれ、スムーズな移行、且つ、電気部門で働く社員が納得感を持ち新たな施策及び業務を担うことにつながっていない現状となっているため、更に明らかになった課題及び新たに発生している課題についてより具体的な議論を通じて認識の一致を図っていくため、問題を集約し申し入れを行ったものです。

### 1 項 新たな新幹線体制の確立における技術センターに配置するグループの各担当業務の詳細及び各部署・グループ間で発生する業務のフローについて明らかにし、在来・新幹線相互間に発生する業務及び担当窓口を明確にすること。

(組) 業務マニュアル等により周知していくこととなる。ということだが、こういったものになるのか。今あるモノで変えていくものなのか、新たに作られるものなのか。

(会) 今新幹線ネットワーク部のほうで業務マニュアルというものを作成しているところ。  
年明けくらいから説明会の中でこういったものを社員のほうへ配布をしていきたい。

(会) 電力同士の新幹線と在来線のもののフローが一つと、他系統のほうにも移管されるところがある管理メセの停電の申し込みのボリュームが大きくなっていくことが予想されるので、他系統のほうへ停電の申し込みができないかというところを今検討しているところである。

(組) 教育っていうのは誰がいつ行っていくのかということや、いつの停電から適用していくのかっていう具体的なものが今の時点で出ない厳しいのかなと思っている。

(会) 新年度からっていうのは難しいかなと考えてはいる。教育については、電力指令のほうから各職場、他系統とかに教育を停電支援システムの使い方については教育を行っていく。停電支援システムについても他系統の方に展開をしていかないといけない部分もあるので、今後やっていく予定である。今回の新幹線のやつとは別。

### 2 項 新たな新幹線体制の確立による駅配電設備における在来線、新幹線、ビルテックの保守区分について図面で示すこと。また、現場でも分かるようにシール等の表示をすること。

(組) 新幹線との区分については駅配電所の変圧器の二次側からとなっているが、この考え方だとそもそもビルテックとの区分のときに、そういったビルテックのものしかないような盤の場合はビルテックで持つという考え方になっている。その考え方と今回の考え方が一致しないのではないかと。

(会) それについても昨年から議論しているところであって、全社的にそういった二次側からということにしたため、そこについてはご理解いただきたい。

(組) 今後、配電所ごとに区分図みたいなのは特に作る予定はなくて、考え方のみ示されるような形ってことで良いかと。

(会) 整理していきたい考えではいる。